

音楽科【第3学年】年間指導・評価計画

府中市立府中第五中学校

1 各学年・各分野の学習目標

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現および鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 指導内容および評価規準

〔共通事項〕

「A 表現」および「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、

知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。

イ 音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。

(1) 「A 表現」 (1) 歌唱および〔共通事項〕

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 7 9 10 12	- 曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。 - 声の音色や響きおよび言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 - 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

(2) 「A 表現」 (2) 器楽および〔共通事項〕

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10	- 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。 - 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につけている。 - 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能を身につけている。	音楽を形作っている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

(3) 「A 表現」 創作および〔共通事項〕

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6	- 音階や言葉などの特徴および音のつながり方の特徴について理解している。 - 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。	音楽を形作っている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。



(4)「B鑑賞」鑑賞および〔共通事項〕

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6	・ 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	・ 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・ 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
11 12	・ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。		